

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について(数値目標)

No	数値目標	H25年度 の現況値		H30年度 の目標値		H26年度 の実績値		H27年度 の実績値		進捗率 (%)	実施状況(今後の取り組み)				
政策目標1 『子どものスポーツ機会の充実』															
1	授業以外でほとんど毎日(週3回以上)運動やスポーツを実施している小学生(4・5・6年生)の割合	男	59.3	%	男	65	%	男	57.8	%	男	57.2	%	-36.8	<p>H27年度の実施状況を踏まえ、次のとおり継続して事業に取り組んでいく。</p> <p>○健康体力づくり一校一実践運動は継続して実施。各学校からの計画所提出の段階で、指導主事が確認し、課題を踏まえていない学校には再提出をさせる。</p> <p>○「地域で取り組む学校元気アップ事業」は新たな推進校15校で実施するとともに、他の小学校への普及・啓発を図る。H27推進校の運動時間の増減について検証し、事業効果を評価する。</p> <p>○参加型イベントは、継続して実施。</p> <p>○体力向上対策委員会は、縮減するが、継続して実施。</p> <p>○指導主事の学校訪問回数を増やし、目標値達成に向けた具体的手立てを指導・助言する。</p> <p>○先進的な実践の情報提供が、各学校において活用されているか、指導主事が健康体力づくり一校実践運動の計画書で確認する。</p> <p>○体力向上資料(小学生向け)を各学校に配付し、活用を図る。</p>
		女	34.1	%	女	40	%	女	33	%	女	34.4	%		
政策目標2 『健やかな体の育成(学校保健・食育・学校安全)』															
2	朝食を毎日食べる子どもの割合	男子	91.1	%	男子	95	%	男子	90.4	%	男子	89.5	%	-41.0	<p>○各学校で「食に関する指導全体計画・年間指導計画」を活用し、食に関する知識、食を選択する力、望ましい食習慣を身に付けることを目的として、学校教育活動全体を通して食に関する指導が定着するよう指導、助言を行う。</p> <p>○家庭や地域とも連携して食育を推進していく。</p> <p>・朝食摂取の重要性については、便りばかりでなく、PTA総会等を通じて家庭への理解を図っていく。</p> <p>○食育シンポジウムを開催し、指定校での実践例の紹介や効果的な取組等、情報提供に取り組んでいく。</p>
		女子	91.7	%	女子	95	%	女子	92.1	%	女子	90.9	%		
	中学校3年	男子	85.7	%	男子	90	%	男子	85.4	%	男子	85	%	-16.3	
		女子	87.5	%	女子	90	%	女子	84.7	%	女子	85.8	%	-68.0	
	高等学校3年	男子	79.7	%	男子	85	%	男子	82.6	%	男子	82.3	%	49.1	
		女子	85.8	%	女子	88	%	女子	86.3	%	女子	85.6	%	-9.1	
政策目標3 『ライフステージに応じたスポーツ活動の推進』															
3	1年間に一度もスポーツをしない者の割合		40.5	%		20.0	%		22.4	%		20.1	%	99.5	<p>・県が示した「身近な地域に出向く」、「運動未実施者に対する運動機会との接点を考える」、「関係部署等との連携を図る」、「広報の工夫を行う」の4視点について、啓発資料を用いながら、共通理解を図るとともに、運動未実施者の参加促進についての好事例や全国の先進事例の情報共有を行い、取組の促進を図る。また、協議会の方法について、パネルディスカッションを取り入れるなど方法を工夫していく。</p> <p>・オリンピック等を活用した講演会については、引き続き開催。対象を指導者に絞り、教育事務所も活用しながら、全ての市町村から関係者が参加するよう、参加者の確保を図る。</p> <p>・県政モニターによる運動スポーツに関する意識調査を継続して実施し、実態把握を行い、各市町村、関係団体の取組の参考とするよう、協議会をはじめ各種研修会や啓発資料を通じて還元していく。</p>

山梨県スポーツ推進プログラムの進捗について(数値目標)

NO	数値目標	H25年度の 現況値		H30年度の 目標値		H26年度の 実績値		H27年度の 実績値		進捗率 (%)	実施状況(今後の取り組み)
政策目標4 『住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備』											
4	総合型地域スポーツクラブを設置している市町村の割合	88.9	%	100	%	92.6	%	92.6	%	33.3	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市町村を通じて地域の実情に合ったクラブの運営や活動への支援に理解を求める。また、設立準備中及び未設置の身延町、早川町に対しても、既存の活動をふまえながら、実態に合ったクラブ設立に向け啓発を図っていく。 総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるため、行政だけでなく、各クラブによる広報についての協力を依頼する。
5	新スポーツ推進計画を策定している市町村(策定中も含む)	11.1	%	80	%	18.5	%	44.4	%	48.3	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き市町村担当者会議や市町村訪問などの機会を通じて、各市町村における総合計画策定の状況や本県の推進プログラムを参考にした計画策定、スポーツ推進委員の活用など促していく。 会議だけでなく、次年度予算編成時等の時期を捉えた文書による依頼を行う。 スポーツ推進委員協議会の研修を活用し、推進委員の意識啓発を図る。 進捗状況等のアンケートを継続して実施し、情報を共有していく。
政策目標5 『競技力の向上』											
6	国民体育大会における個人、団体の上位8位以内の入賞数	79	人	100	人	83	人	75	人	-19.0	<ul style="list-style-type: none"> ○早期の情報収集からの早期強化 ○競技団体との強化会議を開催し、具体的な選手のピックアップ、ふるさと選手を含めた選手選考、具体的な強化策の考案を行う。
7	国民体育大会における天皇杯900点、順位20位台	856.5	点	900	点	892	点	818.5	点	-87.4	<ul style="list-style-type: none"> ○新規種目の強化 ○第71回の国体から導入される新規種目に対する強化費の適切な配分を検討する。
		31	位	20	位台	29	位	34	位	-27.3	<ul style="list-style-type: none"> ○地の利を生かす ○地元開催の関東ブロックで代表権を獲得するためには、試合会場での練習を増やす。
8	トップレベルの競技者の養成・確保のための一貫指導体制を確立している競技団体の割合	78	%	100	%	85	%	88	%	45.5	<ul style="list-style-type: none"> ○競技団体ごとに行う「競技団体個別会議」や「強化会議」等の場を通じて一貫指導の好事例の情報提供などによりマニュアルの重要性を理解させることにより作成を促す。 ○ジュニアアスリートータルサポート事業において、指導者研修会や技術講習会への派遣を行う。

※進捗率=(H27実績-H25現況値)÷(H30目標値-H25現況値)

※5カ年で目標値(H30) 100%となる。H26(初年度)実績値に係る進捗率のベンチマークは“40%”となる。